

主な事業

宅配便を利用した 不要なパソコンの回収事業を実施

ギカイの視点

問 令和2年4月から宅配便を利用し、要らなくなったパソコンの回収事業を行っていると思うが、事業の内容とその実績は。

答 これまで、パソコンの回収については、市で直接回収できるものではないので、メーカーによる回収を案内していたが、廃パソコンの回収業者であるリネットジャパンリサイクル㈱と協定を締結し、令和2年4月から宅配便を利用した回収を開始し、申し込んだ市民の方の御家

庭に宅配業者が直接出向き、パソコンを回収している。令和2年度は、1,627件の回収依頼があり、回収量は約10tと報告を受けている。



コミュニティソーシャルワーカーを 市内で3人配置

ギカイの視点

問 令和2年度の相談内容の内訳は。

答 経済困難関連が1,321件、介護関係が1,133件、障がい関連が851件、隣との境界や騒音の関係、近隣トラブルが668件、子育て関連が170件、衛生関連が150件、将来への不安に関することなど、その他として672件、合計4,965件。

問 困難事例に対して、令和2年度は対策会議などを開催しているのか。

答 OB職員も含めて、庁内ソーシャルワーカーとして、庁内

で連携をしている職員がいる。

その職員が、適宜コミュニティソーシャルワーカーと話し合いながら、市以外の関係機関との資源につなぐ会議も設けており、定期的ではないが、随時やり取りをしていく中で、電話等も含めて情報交換をしている。



スクールソーシャルワーカーを 全中学校区に配置

ギカイの視点

問 教育相談の充実及び個に応じた支援をどのように行い、その成果は。

答 *スクールソーシャルワーカーが全中学校区に配置されたことにより、家庭訪問の回数が増えたほか、関係機関との連携が密になり、きめ細やかな支援を行えるようになった。

問 スクールソーシャルワーカーが対応した件数は。

答 実際に各学校に訪問した回数は、小学校が377回、中学校は372回。家庭訪問の回数が512回である。

また、相談件数については、児童虐待、不登校、家庭環境と様々な要因があるが、延べ2,914件の相談に応じている。

*スクールソーシャルワーカー

児童・生徒が置かれている様々な環境に着目して働きかけることができる人材や、学校内あるいは学校の枠を越えて、関係機関等との連携をより一層強化し、問題を抱える児童・生徒の課題解決を図るためのコーディネーター的な存在。

このため、スクールソーシャルワーカーは、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識や技術を有している。

マイナンバーカードの 交付状況と増加要因は

ギカイの視点

問 マイナンバーカードの交付状況は。

答 令和2年度における交付枚数は1万9,157枚、累計で5万9,978枚、交付率は23.9%。

令和元年度における交付枚数は6,074枚、累計で4万8,211枚、交付率は16.33%。

問 令和2年度に交付枚数が増えた理由は。

答 ①国のほうでカード未取得者に対し、カードの取得を促す通知を送付したこと、②*マイナポイント事業の締め切りが令

和3年4月申請分となっていたことなどが想定される。

*マイナポイント事業

マイナンバーカードを使って予約・申し込みを行い、選んだキャッシュレス決済サービスでチャージや買い物をすると、そのサービスで、利用金額の25%分のポイントがもらえるもの。(一人当たり5,000円分が上限)

2021年4月末までにマイナンバーカードを申請した方はマイナポイントの対象となり、カード受け取り後、マイナポイントを申し込み、2021年12月末までにチャージまたはお買い物をすることで上限5,000円分のポイントを受け取ることができる。

道路維持管理・水路維持管理とも 目標値を上回る実施率

ギカイの視点

問 道路維持管理について、要望件数に対する実施件数、実施率、また、前年度対比は。

答 令和2年度は、要望件数1,020件に対し、実施件数は946件で実施率92.75%、目標値92%を上回る。

また、令和元年度と比較して、要望件数は139件増加、実施件数は133件増加となった。

問 水路維持管理について、要望件数に対する実施件数、実施率、また、前年度対比は。

答 水路維持管理は、要望件数535件に対し、実施件数は520件で実施率97.2%、目標値96%を上回る。

また、令和元年度と比較して、要望件数は77件の増加、実施件数は78件増加となった。

英検3級以上取得54%、 国の目標値を達成

ギカイの視点

問 英検各級の受験者数は。

答 市内の中学校3年生のうち5級が11名、4級が188名、3級が1,163名、準2級が311名、2級が71名、準1級が2名、合計で1,746名が受験。

問 3級以上の取得者の割合は。

答 3級以上を取得している生徒数が国の基準となっており、

令和2年度、3級以上の取得は54%で、*国の目標値を達成できた。

*国の目標値

国が定める第3期教育振興基本計画(計画期間2018年~2022年)では、中学校卒業段階時において、英検3級以上程度の取得を50%と定めている。